

出題 蜚雪ゼミナール

柳津校・寒河江智己



文系科目を指導しています。社会はただ暗記するのではなく楽しく覚えましょう！

## 問題【社会】

九州地方の地理について、次の各問いに答えなさい。

- (1)長崎県や佐賀県に面している海は何か。
- (2)主に熊本県の八代(やつしろ)平野で栽培されている、畳の原料となる作物は何か。
- (3)温暖な気候やビニールハウスを利用して出荷時期を早める栽培方法は何か。
- (4)九州南部に広がる、火山の噴出物が積もった地層は何か。

## 豆知識 雑学コラム

## 九州地方〈農業編〉

みなさん、九州地方には行ったことがありますか？私は2回行ったことがあります、太宰府天満宮や熊本城、指宿(いぶすき)温泉などたくさんの場所を訪れました。特に九州地方は火山が多いため、温泉が各地に点在しており、私のような温泉好きにはとても魅力的なところですよ(笑)。また、鹿児島県や宮崎県の豚肉、熊本県のスイカ、福岡県のイチゴなど美味しいものもたくさんあります。そんな魅力いっぱいの九州地方ですが、今回は九州地方の農業について見ていきましょう。

(1)は有明海(ありあけかい)です。海と言うと砂浜海岸や岩石海岸を思い浮かべると思いますが、有明海は干潟が有名な海です。この干潟の地形を活かして海苔の養殖が行われていて、有明海の手付海苔は日本一とも言われています(佐賀県は海苔の生産量日本一)。中には1万枚に3枚ほどしか取れない1枚あたり約200円という貴重な海苔もあるそうです。また、有明海にはムツゴロウやワラスボといった珍しい生物がいることも有名ですね。

(2)はい草です。町の畳屋さんで熊本県のゆるキャラ、くまモンが描かれたポスターやのぼりを見かけたことはありませんか？あれは熊本県が日本で生産されているい草の9割以上を占めていることが関係していて、くまモンが描かれた畳も販売されているほどです。ですから、「畳を買いに熊本さ行くさ(い草)」で覚えましょう(ちょっと方言が入っています)。

(3)は促成栽培です。どのような栽培方法を記述する問題がよく出てきますので、必ず押さえておきましょう。キーワードは「温暖な気候」、「ビニールハウス」、「出荷時期を早める」ですよ！ほかの地域で生産していない時期に生産することで利益が得られ、主にナス・ピーマン・きゅうりが栽培されています。また、宮崎平野だけでなく四国地方の高知平野でも行われていることも忘れてはいけません。どちらも南の方に暖流の黒潮(日本海流)が流れているため、温暖な気候であるという共通点があります。

(4)はシラスです。よくご飯にかけて食べるあのしらすではありませんよ(笑)。問題文にある火山の噴出物とは火山灰のことで、九州地方南部にシラス台地という地形が数多く分布しています。九州地方北部では稲作が盛んですが、火山灰の地形は保水力がないため稲作に適していません。そのためシラス台地では畜産のほか、サツマイモやお茶などの生産が行われています。鹿児島県は薩摩もち豚、薩摩地鶏、知覧(ちらん)茶など有名ブランドが多いですが、それを支えているのがシラス台地なんですね。

今回はここまで。次回は九州地方〈産業編〉です！

## 【解答】

(1)有明海 (2)い草 (3)促成栽培 (4)シラス